

特別講演会の実施

最近の技術開発動向や企業活動に関する話を第一線で活躍中の技術者の方に伺う催しとして、株式会社牧野フライス製作所で工作機械の開発に長年携わってこられた小池伸二氏を講師として迎え、特別講演会を開催した。

実施の概要

日時： 平成 27 年 11 月 18 日（水） 16：10～17：40
場所： 工学部 1 号館 10 番講義室
講演題目： 「ものづくりの自動化とは」
講師： 小池 伸二 氏（株式会社牧野フライス製作所 取締役開発本部長）
参加者数： 約 70 名

講演の概要

技術開発は「守・破・離」の過程を経て進展する、すなわち、ものまねから始まり、工夫・改善の過程を経て独創的な新技術が創出される。したがって、工作機械自動化の今後の展開を考えると、その歴史を辿ることは意義深いことであるとして、工作機械の自動化の歴史について概説の上、(株)牧野フライス製作所で開発された自動化技術の様々な事例、工作機械の自動化技術の開発手法が紹介された。

小池氏は、最後に、ものづくりの自動化は、人が行う作業を機械が代替することにより、省人化、高機能化、品質安定、生産効率や安全性の向上を図り、ものづくりのレベルアップを目指すためのものであり、決して人の働く場所を奪うためのものではないこと、工作機械自動化の今後の進展に関するキーワードは、高機能化、複合化、細分化であり、市場動向を把握し、最も有効な自動化の種を探す必要があることを説き、講演を締めくくった。



(a) 講演中の小池氏



(b) 講演後の質疑応答

図 講演会会場風景